

別表第1（第5条関係）

事 務 事 業 評 価 シ ー ト

評価対象年度 平成 20 年度

【事務事業の基本的事項】

事 務 事 業 名	生保内節全国大会実行委員会負担金							
担 当 課 係 名	市民会館	課	-	係	作成者	船山 睦		
総 合 計 画 で の 位 置 づ け	施策の大綱	明日を担う人材育成を育む教育文化のまち				総合計画のページ		
	基本計画	芸術文化活動の振興と文化財の保護						
	主要施策	芸術文化団体の振興						
予 算 費 目	一般	会計	10 款	教育費	5 項	社会教育費	10 目	市民会館費
事 業 期 間	平成	年度	～	平成	年度	新規／継続の区分		継続
性 質 区 分	☐ 市民サービス ☐ 公共事業 ☐ 施設維持管理 ☒ 補助金 ☐ 内部管理							
根 拠 法 令 等								
事 務 区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務							
運 営 方 法	☐ 直 営 ☐ 直営（一部民間委託） ☐ 民間委託(全部) ☒ 補 助							

【事務事業の実施内容】

事業の対象 (誰のため・何を)	全国の民謡を愛する人
事業の目的・意図 (どういう状態にしたいのか)	民謡の宝庫といわれている仙北地方で生まれた「生保内節」を、正しく継承しながら広く普及させるとともに、地域の発展を目指す。
事業の内容 (どのような業務、活動を行うのか)	大会の運営業務を実施する。

【事務事業の推移】

	項 目			単位	18年度実績	19年度実績	20年度実績	
効果	活動指標	申込者数	目標	人	200	200	200	
			実績	人	211	221	221	
			達成度	%	105.5%	110.5%	110.5%	
	成果指標	出場者数	目標	人	180	180	180	
			実績	人	181	172	181	
			達成度	%	100.6%	95.6%	100.6%	
投下コスト	項 目		総事業費		18年度決算額(千円)	19年度決算額(千円)	20年度決算額(千円)	
	事業費（人件費を除く）(A)				3,123	3,259	3,647	
	人 件 費 (B)		—		2,356	2,421	4,597	
	職 員 数		—		0.30	0.30	0.58	
	職 員 平 均 人 件 費		—		7,853	8,071	7,925	
	(A) + (B) 投下コスト				5,479	5,680	8,244	
	財源内訳	国 庫 支 出 金						
		県 支 出 金						
		地 方 債						
		そ の 他						
		一 般 財 源				5,479	5,680	8,244
単位コスト	活動指標1単位当たりコスト(円)		—		25,967	25,701	37,303	
	市民1人当たりのコスト(円)		—		172	181	266	

【事務事業の今までの成果】

今年で24回目を数える当大会は平成11年度(第14回大会)の申込者299人を最高に、ここ数年200人前後で推移している。もう少し出場者が増えるようPRする必要がある。

【事務事業を取巻く環境】

国・県・他自治体の動向	特になし
事業に対する市民の意見 (事業に対する期待、要望、苦情等)	特になし

【一次評価】

判 定	事 業 の 方 向 性	判 定 に 至 っ た 理 由
A	A 現状のまま継続(実施)	県内に全国大会が12団体ある中で、内閣総理大臣杯があるのは当大会だけである。集客の少なさ、開催期間等改善すべき課題はあるが、実際変えるとなると難しい面もある。
	B 1 見直しの上で継続(拡大)	
	B 2 見直しの上で継続(手段改善等)	
	B 3 見直しの上で継続(縮小)	
	C 1 大幅な見直しの上で継続(拡大)	
	C 2 大幅な見直しの上で継続(手段改善等)	
	C 3 大幅な見直しの上で継続(縮小)	
	D 休止・廃止(統合を含む)を検討する事業	
	E 終了(完成及び目的を達成し終了した事業)	

※一次評価の判定がB～Dのときは、下記に必ず記入すること。

【具体的な今後の取組内容(改善の方向性、対象、意図、手段等について記載すること。)

【二次評価】

判 定	判 定 に 至 っ た 理 由
B 2	負担金を支出していることに加えて実行委員会の事務を市民会館が担っている実態があることから、実行体制を見直す必要があります。出場者や集客の減少への対策とあわせ、必要な見直しをしながら継続すべきです。

一次評価診断図

